

経営比較分析表

佐賀県 武雄市

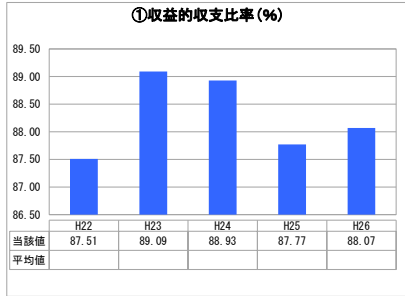
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	20.30	97.81

1か月20m³当たり家庭料金(円) 4,104

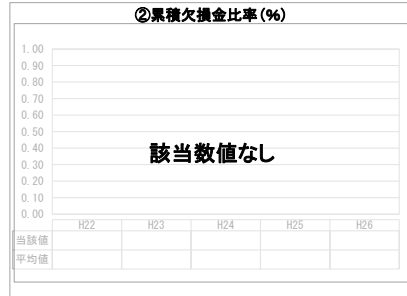
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
50,359	195.40	257.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
10,153	5.34	1,901.31

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

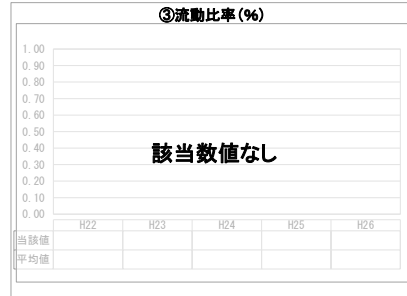
1. 経営の健全性・効率性



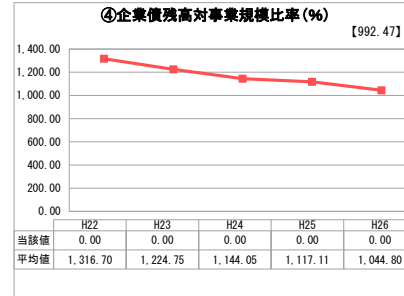
「単年度の収支」



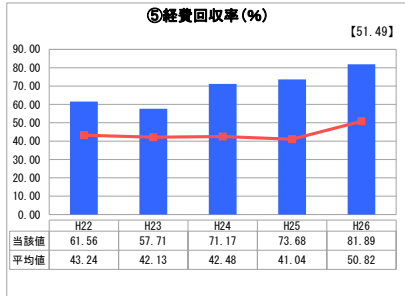
「累積欠損」



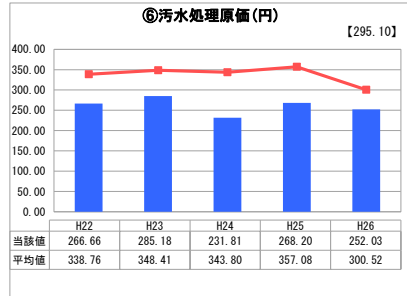
「支払能力」



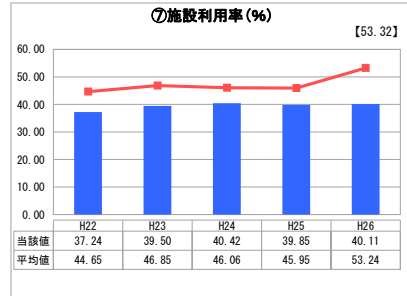
「債務残高」



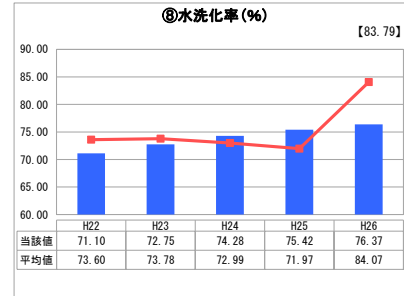
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

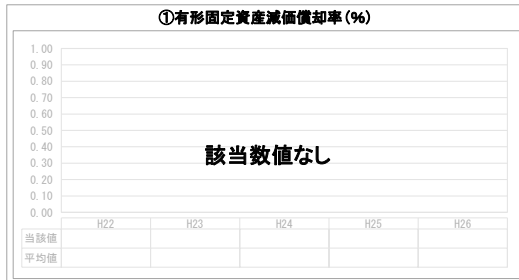


「施設の効率性」

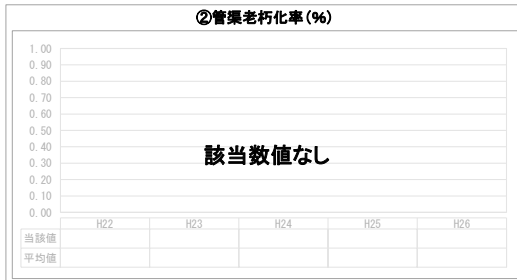


「使用料対象の捕捉」

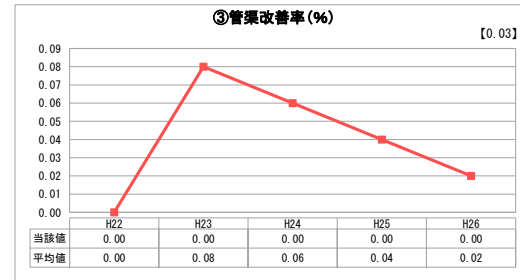
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が平成26年度で88.07%と赤字となっている。また経費回収率を見ても、平成26年度で81.89%と100%を下回っており、料金水準、維持管理費の見直し等の経営改善に向けた取組が必要である。

2. 老朽化の状況について

当市の農業集落排水の供用開始は平成11年度であり、市内8箇所処理施設は設置後10年を経過しているため、老朽化が進んでいる状況である。そのため、処理施設の機器更新を平成27年度から順次実施しているところである。

全体総括

水洗化率は類似団体とほぼ同水準で推移してきているが、収益的収支比率、経費回収率がいずれも100%を下回っている。本市は現在、農業集落排水事業の新規建設事業を行っておらず、今後、供用区域の拡大の予定はない。したがって、現供用区域内での接続率を高めつつ、料金水準、維持管理費の見直しを行い、健全な経営が行えるよう努めていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。